

新しい健康福祉ビジョンの策定について

1 経緯及び新しいビジョンの位置づけ

(1) 経緯

- 「**あいち8か年福祉戦略（愛フルプラン）**」
 - ・平成5年7月策定
 - ・計画期間 平成5年度～12年度
 - ・20世紀に残された8か年の間に実施すべき施策の大筋を明らかにした総合福祉計画
- 「**21世紀あいち福祉ビジョン**」
 - ・平成13年3月策定
 - ・計画期間 平成13年度～22年度
 - ・ビジョン部門
 - 21世紀初頭における本県福祉の進むべき方向を明らかにした中長期ビジョン
 - ・実施計画部門
 - ビジョンの実効性、具体性を高めるため、各分野の取組方向や重点的に実施すべき施策・事業の具体的な目標を掲げた短期計画（現在は第4期実施計画を推進）
- 「**新しい健康福祉ビジョン**」
 - ・平成22年度内に策定予定
 - ・平成21年度は県政モニターアンケートなどを実施
 - ・計画期間 平成23年度～平成27年度（平成37年頃までの長期を展望）

(2) 位置づけ

- 現在の「21世紀あいち福祉ビジョン」の理念を継承し、更に発展させる。
- 今後本格化していく少子高齢社会への対応はもとより、地域医療の確保など新たな課題に対応するため、本県の健康福祉行政の進むべき方向を示す新たな羅針盤とする。
- 21世紀あいち福祉ビジョン策定後、健康福祉分野においては法定計画（高齢者保健福祉計画、次世代育成支援対策行動計画、障害福祉計画等）が個別に策定されてきた経緯があるため、新しいビジョンは「政策指針2010-2015」と連携し、大きな考え方や主要な政策を方向づけていくことで、個別の法定計画をリードするものとする。

2 策定に向けた取組

<平成21年度>

県民の意向を聴取するため、県政モニターアンケート等を実施。

- ・「あいちの健康福祉」をテーマに県政モニターアンケート（8月）
- ・「これからの健康福祉を考える」をテーマにシンポジウム（3月24日）
- ・福祉事業所等を対象としたアンケート調査（2～3月）

<平成22年度>

- ・意見聴取
 - 社会福祉審議会、医療審議会、パブリックコメントで意見聴取
- ・検討体制
 - 有識者等で構成する懇談会を開催し、21世紀あいち福祉ビジョン推進本部会議で決定

3 検討体制

(1) 新しいあいちの健康福祉ビジョンを考える懇談会

新しいビジョン策定に関して学識経験者などから助言等を得る。

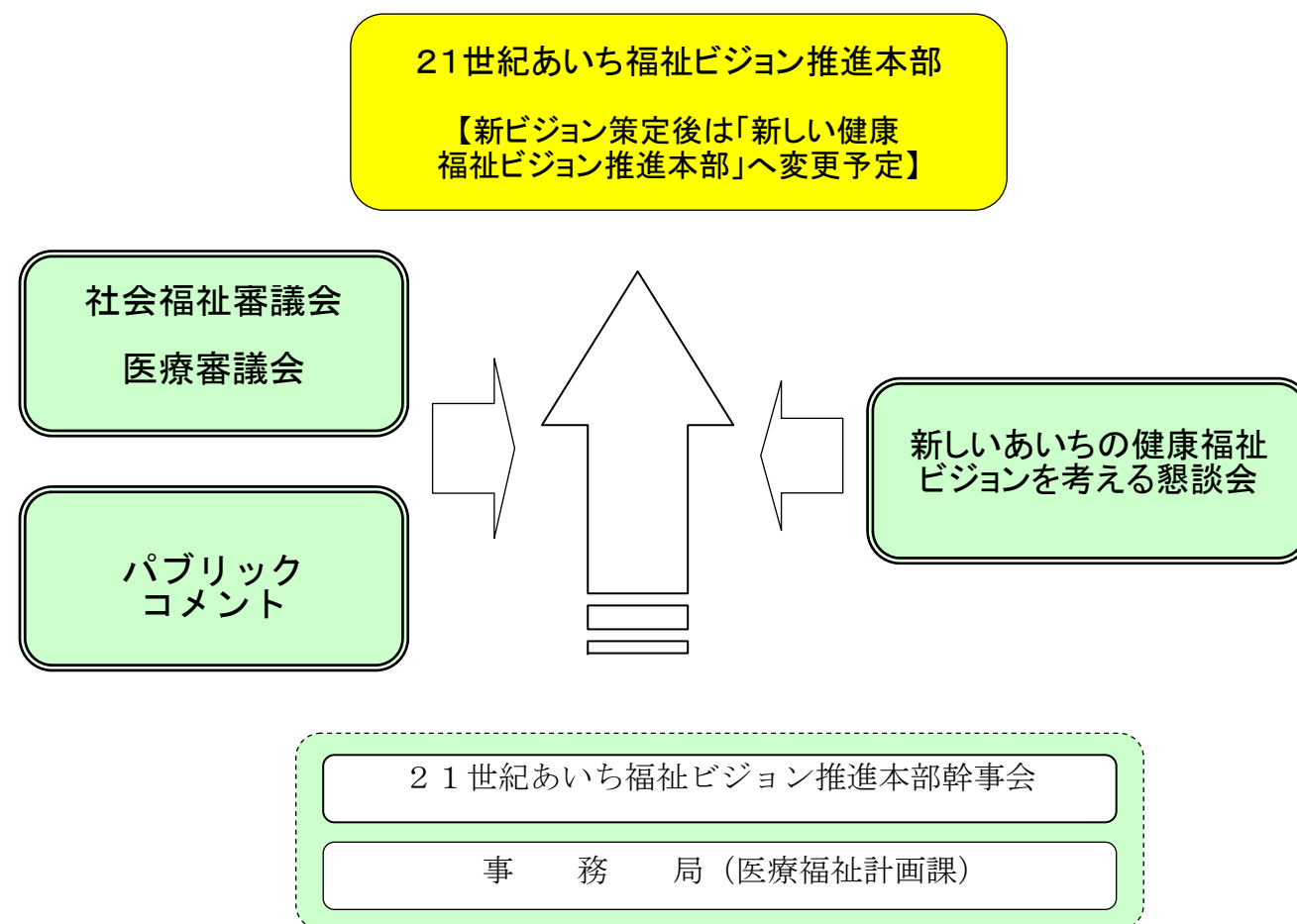
大沢 勝（愛知県社会福祉協議会長） 始め約10名、平成22年度に3回程度開催

(2) 21世紀あいち福祉ビジョン推進本部

（新しいビジョン策定後は「新しい健康福祉ビジョン推進本部」へ変更予定）

新しいビジョンについて審議、決定する。

- ・本部長：知事、副本部長：副知事、構成員：関係部局長
- ・幹事会を設置（幹事長：健康福祉部次長、構成員：関係部局主管課長等）



4 策定に向けたスケジュール・・・別紙のとおり